

民生委員・児童委員通信

しあわせ

HAPPY NETWORK

No.18 平成 26 年 3 月

発行 守山市民生委員児童委員協議会

事務局 守山市社会福祉協議会
住所 守山市下之郷三丁目2番5号
TEL 077-583-2923

高橋 武勝部	小島千賀枝 勝部	川本 隆志 勝部	太田 冬樹 梅田	岡田 和男 梅田	三野 洋子 本町	西田ちづ子 本町	宇田 賢一 泉町	間宮 京子 泉町	佐藤ちか子 今宿	松田 知子 今宿	藤岡恵美子 今宿	村上 邦雄 今宿	小島 京子 今宿	守山学区
--------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	------

梅景 光子 古高	鶴家知栄子 二町	安井 豊美 二町	林 秀樹 二町	山出 聖見 伊勢	上田美智子 伊勢	奥村 絹子 伊勢	山川 勉 伊勢	今井万里子 阿村	田中 町江 千代	浅井 洋子 焰魔堂	安井 広尚 焰魔堂	蓮井 範子 勝部	菅井 正好 勝部	藤本 幸子 勝部
----------	----------	----------	---------	----------	----------	----------	---------	----------	----------	-----------	-----------	----------	----------	----------

杉原 正香 吉身東町	北 京子 吉身東町	小西由美子 吉身中町	岡田眞理子 吉身中町	秦 紀久子 吉身中町	柴田恵美子 吉身中町	洲上 清二 吉身中町	山中 澄子 吉身西町	中島みどり 下之郷	伊藤 博 下之郷	林 松枝 下之郷	西村 康子 元町	岩下賀津美 元町	舟橋 裕子 元町	林 美智子 元町	池内つや子 元町	吉身学区
------------	-----------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	-----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	------

森上ことみ 金森	高田嘉代子 金森	大谷加代子 金森	村瀬 幸子 十二里	石田美千代 十二里	藤本 武司 十二里	金野 弘子 石田	中西 清重 石田	荒木 王詔 矢島	水野 民男 矢島	藤田喜代子 矢島	山本 順子 赤野井	眞田 克子 赤野井	酒井 信次 赤野井	田村 薫 赤野井	大崎 滋子 赤野井	勝山 悦子 赤野井	渡邊 倫子 赤野井	上野 孝子 赤野井	奥野なほみ 赤野井	菱倉 佳代 赤野井	森本 順孝 赤野井	西井 泉 赤野井	中野 安子 赤野井	谷村 八重 赤野井	中川 郁男 赤野井
----------	----------	----------	-----------	-----------	-----------	----------	----------	----------	----------	----------	-----------	-----------	-----------	----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	----------	-----------	-----------	-----------

川嶋喜代乃 笠原	高谷 益子 笠原	井入 尚昭 笠原	里内マリ子 荒見	藤本 勝子 今市	宮嶋 洋子 布施野	木戸脇久美子 播磨田	西出 久夫 播磨田	東出美智代 播磨田	鷲田 準一 播磨田	鶴房 笑子 播磨田	田中 正 播磨田	奥野 貞夫 播磨田	富田 千波 阿比留	近藤 公子 小島	島田 捷子 小島	宇野 由美 小島	島中 彬 小島	高田三千郎 金森山柿	寺町 栄 三宅稲葉	古高 孝子 杉江	松村 系代 山賀	三品 悦子 森川原	櫻井 武久 欲賀	斉戸 恭子 欲賀	市川志津江 大林	岩本 剛三宅
----------	----------	----------	----------	----------	-----------	------------	-----------	-----------	-----------	-----------	----------	-----------	-----------	----------	----------	----------	---------	------------	-----------	----------	----------	-----------	----------	----------	----------	--------

谷口 高子 笠原	上路富治枝 小浜	西本 麗子 小浜	森田 雄 幸津川	上畑 義宏 幸津川	本城 次尾 立田	富田 秀圓 立田	石原紀代子 服部	中村 綾子 新庄	高谷 恵子 新庄	石田 知子 新庄	井野みちよ 新庄	大谷 良徳 新庄	西川 正江 新庄	松永 栄子 新庄	中辻 幸男 新庄	藤田 京子 新庄	服部 香 新庄	山田あき子 新野	今井きよ美 水保	加藤 敏雄 美崎	山田 美鶴 美崎	鍵和田良学 今浜	劔熊 惠潤 木浜	山本 純裕 木浜	山本なお栄 大曲	高橋 美紀 開発	新道 信彦 開発	速野学区
----------	----------	----------	----------	-----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	---------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	------

あなたの相談相手です

民生委員・児童委員は あなたの相談相手です

あなたのまわりの担当をご確認ください

(順不同・敬称略)◎会長 ○副会長
民生委員は児童委員を兼ねています。

広げよう 地域に根ざした思いやり

一斉改選にあたり

去る12月は民生委員児童委員の一斉改選があり、多くの方々が退任されました。長年に亘り民生委員児童委員としてご活躍されてこられましたことに深甚

の敬意を表し、感謝申し上げます。また新たに任命をお受けいただきました委員の方々が地域福祉向上のために活躍いただきますことと心強く存じています。

さて、守山市の人口は年々増加し、遂に8万人を超えました。人口が増加すると同時に、より細やかな福祉活動が求められます。昨今は、災害時における対応も大きな社会問題として

取り上げられ、守山市では要援護者登録事業の取り組みを始められました。益々複雑多様化する福祉施策の中、民生委員児童委員がおこなっている日常の見守り活動が重要となっております。

皆さまと共によりきめ細かな福祉活動に努めてまいりますので、よろしく願います。



守山市民生委員児童委員協議会 会長 富田 秀圓

声

「読書で子育て 心育て」

児童文学作家 今関 信子

表紙を開いて物語世界へ入り、裏表紙を閉じてその世界からぬける、それが物語の本です。想像力を羽ばたかせる本の世界では、現実とは異なる世界が広がります。

もし本の中に広がる世界を体験できたら、私達は、現実をひらりと越えられるでしょう。もし、五歳の男の子が主人公なら、現実には七十歳のおばあさんでも、五歳の男の子を体験できます。未来に行くことができ、過去へも、外国へも、未知なる世界へも行くことができます。花の心を知ること、虫たちとお喋りすることも夢ではありません。

こんなに自由で豊かな世界へ行くには、現実の体験が手助けしてくれます。例えば、大きな木が舞台の話を楽しむとき、現実には知って居るあの木が手がかかりになります。あの木よりずっと大きな木と、想像力が働き出すことになります。花の匂いを嗅いだ経験が、本の中の花の声を聞かせるかも知れません。雷の世界の冒険は、ナタ豆のつるの成長が、天上へ誘ってくれるでしょう。

現実の生活や遊びが、本の世界を豊かに楽しむための基になります。

本は、前から読もうが、後から読もうが、真ん中を飛ばそうが、読む人の自由です。

作家は作品の中に、自らの「宝物」を埋め込みますが、すぐ見つかるようでは、その作家の腕は大した事はないでしょう。もし読者が「宝物」を見つけてくれたら、作家は共感の喜びを得ることになります。ですが、「宝物」などに関係なく、読者が自由に読んでいいのが本なのです。どう読もうが自由です。

読者は自分のすべてを注いで、本の世界を体験するわけですから、さまざまな世界が立ちあがることになります。だから、もし、本を真ん中に置いて、子どもと子どもが、子どもと大人が、大人と大人が出会ったら、どんなに楽しいだろうと、私は思うのです。さまざまな体験が会おうのですから。

本は、狭義の教育のための道具ではありません。子ども達が、読書の体験も豊かに積んで、自由に育ってほしいと願っています。

学区だより

ふれあいと福祉の心を育てるつどい

小津学区

今年一月、「ふれあいと福祉の心を育てるつどい」が開催されました。つどいのテーマを「あなたの笑顔でつくろう小津の輪九町の和」として三年目になります。

このつどいは、小津学区社会福祉協議会（学区社協）と小津学区まちづくり推進会議が共催し、民生委員児童委員、主任児童委員十四人のうち五人が学区社協福祉部会児童青少年班に配属されています。

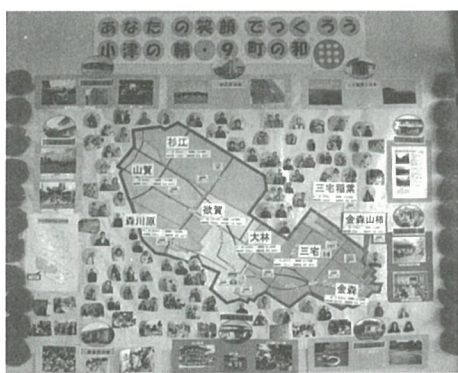
このつどいを担う、児童青少年班は、二十人で構成され、スタッフとして『ひとり一役』を一つ目の心掛けとして会議を重ね企画し、前日準備、当日運営、翌日片付けにあたりました。これらの作業、運営を通じて少なからずも団体間交流、そしてスタッフを部会員、班員に限らなかつたこと等から、ふだん接す

る機会の少ない世代との交流ができました。

二つ目の心掛けは、「スタッフも楽しむ」です。スタッフも楽しんで取り組めば、学区の方も楽しんでいただけたと考えるからです。

コンサート会場では、老若男女たくさんの方と歌を一緒に歌いました。ニュースポーツ体験では楽しそうな声、喫茶コーナーのテーブルからは、賑やかな会話、子どもの遊び場からは、時間を忘れるほど夢中になる様子や展示コーナーでは、自治会の活動風景・団体の掲示物を見つめる姿が見られました。

ここで、お知らせしたいのが、小津学区フォトアートです。今年で三年目です。小津学区地形地図が、九つの自治会館と風景や自治会のスナップ写真に囲まれています。つどいの当日、参



加してくださった多くの笑顔の写真や地図の周りに貼ると、桜色の小津の笑顔の輪になりました。

事業を通して、学区住民の方々はもちろん、スタッフも楽しみ有用感を得て、得た笑顔がまた学区の方々に伝わり輪と繋がる。そんな事業展開がすめられることをのぞんでいます。（大谷記）

児童の福祉作文

速野学区

速野学区民生委員児童委員協議会では、十年前より、小学校の協力を得て、児童から福祉作文を募集し、子どもの時から福祉意識の向上につながるよう努めています。

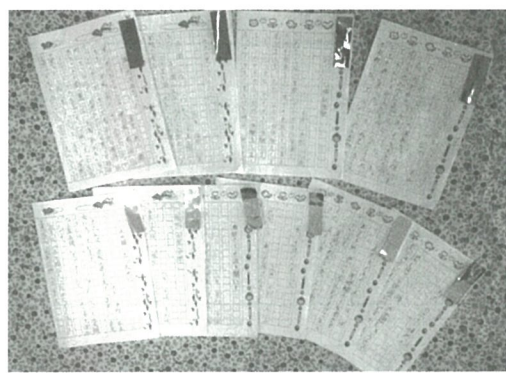
毎年、二百数十作品の応募をいただき、その中から優秀作、佳作を選んでおります。

学校へ作文募集の依頼を行い、一・二年生、三・四年生、五・六年生、にグループ分けをした応募作品を先生方の協力を得て三十数作品を選考願ひ、その中から民生委員児童委員の役員が優秀作三点、佳作三点を選考し、それぞれの作者に賞状と賞品を、また、応募いただいた児童全員にも参加賞を贈っています。

児童の作品の多くは、学校よりの福祉施設現地学習による自分の福祉体験によるものや、お年寄りの方を大切にしなければならぬ気持ちを表現したものでした。いずれも思いやりのある、心のこもった作品ばかりです。

性別や年齢により、また、それぞれの価値観により、個性豊かに表現されており、選考に苦勞をしているのが現状です。

優秀作と佳作については学区社会福祉協議会発行の「速野のふくし」に三回にわけ、順次掲載いただくとともに、優秀作については、有線放送に依頼して、本人が朗読した音声で市内全域



に放送いただいています。

ご協力いただきました児童、先生方に心よりお礼を申しあげますとともに、今後も速野学区の社会福祉の増進に日々努力してまいります。（鍵和田記）

広報研修委員会紹介

今期、民生委員児童委員13人が、広報を担当します。



明るく、笑顔があふれる新メンバーです。「しあわせ」になれるような編集を考えていきたいと思ひます。宜しくお願いします。

編集後記

一月十三日に勝部神社と住吉神社にて「火まつり」が行われました。

大蛇の頭や胴体に見立てた松明に火をつけ無病息災を祈願して気持ちも新たに平成二十六年がスタートしたように思ひます。

新しい年を迎え「万能細胞」を新たな手法で作ることに成功し、世界初の手法を発見されSTAP細胞と命名されました。

こんなすばらしい発明がされた一方、さまざまな理由により生活困窮者や介護を必要とする人が増えている昨今です。また、消費税も8%に上がります。私たち一人では生きることができません。地域の皆さん、特にご近所の絆や繋がりが大切になります。明るい地域づくりができるように少しでも力になればと努力していきたいと思ひます。（小西記）

民生委員児童委員のおもいで ～退任者から～

民生委員児童委員退任にあたり

前 市民児協広報研修委員長 石原 貞成（守山学区）

四期十二年間の民生委員児童委員を昨年12月の一斉改選で退任させていただきました。在任中、各方面の福祉について学ばせていただきました。又この間、全国各地で「いじめ」「虐待」「単独老人孤独死」等々、民生委員児童委員が関わりのある事象が発生しました。当市においても同様の問題が発生し、問題解決の為に行政機関との連携の中で取り組みました。しかし今後予測される災害対策、高齢化社会を迎える中でどう関わっていくか、課題です。行政関係機関の主導により民生委員児童委員もその活動が期待されていくのではないかと思います。

在任中は関係者の皆様方のご理解とご協力によりまして、つつがなく退任させていただく事ができ、感謝致しております。有難うございました。

退任の想い

前 市民児協広報研修副委員長 若杉 安雄（河西学区）

「私たちは生きるように生まれてきたんだ。」最後の日本兵と呼ばれた小野田寛郎氏の言葉です。さらに「みんなちがって、みんないい」という金子みすず氏の一節もあります。

人は人として生を授かった限りは、まずは自助努力で「普通の暮らしをしあわせに」を追求します。どんな特性を持っていようとその生き様の個性は尊重されねばなりません。

ところが、公助・共助なくしては自身の福祉の充実ばかりか、生活自体が成立しない方々も多数おられます。一人の福祉の向上を図る事は、協同体として地域福祉の充実につながります。

民生委員児童委員にとって、行政・福祉・医療等様々な分野と関わるには、柔軟性と創意工夫を持ち交渉能力を磨き、誠実さを常に心がけるべきです。民生委員児童委員を経験して新たな何かを実感できるのは、民生委員児童委員自身なのでから。